

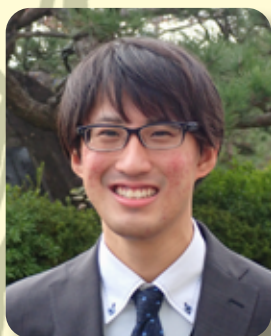
五條西中学校 山下 淳史



「ことばの力」

子どもたちからの「ことば」は私の原動力です。私に大切な気づきを与えてくれます。ある日、「先生の夢は何ですか。」と聞かれました。教員になることが夢であった私は、一瞬言葉に詰まりましたが、「みんなの役に立つことかな。」と答えました。子どもたちの自己実現に少しでも力になれる存在でありたいと思います。日々の生活は楽しいことばかりではなく、うまくいかないこと、辛いこともあります。それらすべてを子どもたちと共有し、「ことば」をかわしながらともに学び合える教員という仕事に、非常にやりがいを感じています。これからも子どもたちに元気を与えられるように、自らの「ことば」を磨いていきたいと思っています。

添上高等学校 村田 健



「楽しむということ」

日々の授業のあとに、生徒たちは授業の感想をよく伝えてくれます。「今日はよく分かった。」と言ってもらえる時もあれば、「分からなかった。」と言われてしまう時もあります。そんななかで、私が一番うれしい言葉は「楽しかった。」です。生徒が楽しく取り組んでいる授業は、私も楽しく感じます。マスク越しではありますが、彼らが楽しんでいる表情を見たときは、とても充実した気持ちになります。楽しいと思えることが、「もっと頑張りたい。」という気持ちを起こさせ、生徒にとっても、私にとっても成長のきっかけになると思います。生徒とともに楽しく成長していけるよう、これからも励んでいきたいと思っています。

奈良東養護学校 北川 さち



「目の前の子どもたちに学ぶ」

憧れの特別支援学校の教員となり、子どもたちと出会えた喜び、これから始まる学校生活への期待と不安の中、4月がスタートしました。先輩の先生方からいただいた「まず先生が本気にならなアカンで。」というアドバイスを胸に、授業、遊びを子どもたちとともに本気で楽しみ、考え、学んできました。そのなかで、少しずつ安心できる関わりや、一緒に楽しめる活動、心が通ったと感じる瞬間が増え、子どもたちの姿が見えてくるようになってきました。うまくいかないことや、悩むこともありますが、本気で向き合うなかで見えてくる目の前の子どもたちの姿を大切に、そこから学び続けられる教師でありたいと思います。

陵西小学校 栄養教諭 鍵谷 美萌



「子どもたちとともに」

4月から、栄養教諭として陵西小学校に着任しました。不安でいっぱいでしたが、可愛い子どもたちと優しい先生方に囲まれ、今はとても楽しく、やりがいを感じています。栄養教諭として、安全でおいしい給食を提供することはもちろん、食育の推進にも力を入れています。特に私は食育の授業を積極的に行いたいと考えています。授業を通じて、子どもたちが食に興味をもち、食の楽しさや大切さを実感できるよう努めています。また、委員会活動や休み時間、給食の準備時間などを通してたくさん話し、子どもたちとの関わりの時間を大切にしています。

これからも、食に関する知見を更に深め、子どもたちとともに成長していきたいです。